

第4回・まち歩き「早稲田ウォーク」のご案内

早稲田大学の周りを、皆さんはどれほど歩いてきましたか。早稲田周辺の景色も決して一様ではありません。第1回は大隈講堂から東に向かい神楽坂まで行き、一昨年は南へ向かい、戸山から四谷を巡り、昨年は大久保・歌舞伎町と猥雑な街を徘徊しました。

今年は「都の西北」から「北」に、都電の早稲田駅や神田川を横目に、雑司ヶ谷方面の「墓地めぐり」を企画します。雑司ヶ谷霊園と護国寺を巡り、近代日本の文化や政治に貢献した偉大な先人たちを偲びましょう。早稲田の創始者、大隈重信公の墓参もできます。

記

- ・開催日：令和7年11月29日（土）※小雨決行
- ・集合：午後2時。大隈講堂前に集合。
- ・会費：特に決めていませんが、懇親会費はそれぞれ自費で。
- ・懇親会場：未定
- ・申込締切：令和7年11月22日（土）
- ・申込先： 早稲田大学・関東鳥取県稲門会 遠藤（下記メールまでご連絡ください）
メール：endo-s1@asahi.com

・コース

- ① **START** 大隈講堂前。オレンジ色のベストを目印にしてください。
- ② 早稲田駅…都電荒川線の早稲田駅。この周辺もマンションばかりになって…
- ③ 面影橋…名の由来は…江戸時代に、その美貌ゆえに数々の不幸に見舞われた於戸姫なる女性が神田上水の水面に我が身を映してから身投げしたという説あり。「罪人が自分の最期の顔を映して見た」という説があるのは別の面影橋。今の神田川は川面までが深く（深く）姿見するのは難しいですね。
- ④ 「面影橋⇒雑司ヶ谷」は都電に乗車しましょう。
- ⑤ 雑司ヶ谷霊園…明治から昭和を彩ったキラ星のような文化人たちが眠ります。
 - ・夏目漱石、泉鏡花、永井荷風、小泉八雲、…近代文学を彩った皆さんです。
 - ・ジョン万次郎、竹久夢二、サトウハチロー、…それぞれ異色の著名人たち。
 - ・開明的な幕臣ながら朝敵とされた小栗上野介忠順は2027年の大河ドラマの主人公
- ⑥ 護国寺…こちらの墓所は明治の元勳や大臣の他、実業家、大学創設者などが並びます。
 - ・三条実美、山形有朋などは明治の元勳、梅謙次郎、下田歌子は大学創設者、大倉喜八郎、野間清治などは実業家です。その他の著名人も多士済々です。
 - ・松平不昧公はここでは異色の存在。お隣の出雲を代表する名君でした。
 - ・最後に、早稲田大学創始者の大隈重信公の墓参をいたします。
- ⑦ **GOAL**⇒懇親会…**場所は未定です**

なお、当日までの間に、立ち寄る先を追加することもあります。